

10年でなくなる小学校3校案は最良の教育環境か

教育委員長…複式学級の解消とより良い施設環境が最良



遠藤 宏司 議員



小学校統合住民説明会(横山小学校)

地域の合意がないときは4校もあり得るのでは

少子化は全国的な問題であり、6学年すべてが複式学級や耐震不足の学校が放置されるなど、教育の現場は異常な状態です。政府・文部科学省は全国の実態をどう把握しているのか。国、県、市町村は、機会均等な教育を受ける待遇と権利を保障し、より安全で、最も理想的で良好な教育環境を整備する義務があると思います。町の財政難や比較的新しい校舎を使い、当面は機械的に3校にするのは、子どもたちの都合よりも、行政の都合を優先しているのではないのでしょうか。地域住民の合意のないときは当面4校からはじめ、10年もかけるのではなく、5・6年先のできるだけ早く1校にすべきではないか。教育委員長、小学校を新たに1校に整備するには、数億円以上の事業規模となるため、現在の財政状



紅白まりいれ(田沢小学校運動会)

況では困難であるとの財政当局からの回答を受けて、現時点での最良案として当面3校とし、まだ新しい学校施設を活用することを検討したものです。平成33年度以降1校とする場合10年程度の経過しかないため、学校に愛着がわかないとか、校歌・校章等をどうするかなどの意見もあり、同意を得られれば開校準備委員会を立ち上げ検討をお願いしたいと思っています。大石田一小、二小、三小とし、同じ校歌・校章にするという意見もあります。

町内各地に30代40代の一生懸命な若手農業者が増えている。町としては応援すべきと思うが、町長 地域農業の担い手となる認定農業者となるよう力強く誘導し支援していきたい。

町長 検討する必要がある。計画しており、現在の徒歩と変わりなく、むしろ安全になると考えています。合意できた地域から順次実施したいと考えており、合意形成がない場合は4校となる可能性もあります。町の教育を考慮した場合、複式学級の解消及びより良い施設環境を提案することが子どもたちにとって最良案と考えますので、地域性に捕らわれることなく高所にたつた判断をお願いします。



大石田小学校5年生の体験学習



小林 征雄 議員

統合小学校3校案について議会で審議するのはいつ頃、どんな内容になるのか。

教育委員長 今年11月中旬に教育委員会の最終方針を決定し、12月定例会議会に係る条例の改正案を上げたい考えです。

合意を得た地域から実行すると説明しているが、確認の時期と方法は、教育委員長 豊田、横山小学校区以外の学区については、3校案に理解を得られたと判断しています。豊田、横山小学校区については、再度9月中旬に住民説明会を開催しお話ししたいと考えています。

平成33年に1校とする10年限定の3校案では、

兄弟がそれぞれ卒業小学校が違うなどがでくる。校歌、校章、同窓会等問題も多く子どもたち本位ではないと思うが。

教育委員長 教育委員会としても理想からすれば直ちに1校案が望ましいと建議しているが、大石田小学校の大規模改修は財政面で困難と考えています。

教育文化課長 大石田第1、第2、第3小学校と同じ校歌、校章として行けないかとの考えも検討しています。

3校案では、望ましい1学年2クラスの学校は1校も実現しない。27年度からは、現大石田小学校の12教室で対応できる

児童数になる。それまでの4年間だけ亀井田地区を北校舎とする大石田小学校1校2校舎でスタートすれば校歌、校章も一挙解決し、23年度から本校舎は1学年2クラスも実現する。名案と思うがどうか。

教育委員長 検討したいと思いますが、現時点では3校案が最良案とされています。



豊田小学校の豊年運動会

町内若手農業者への支援策は

統合小1校2校舎でスタートしては

教育委員長：検討するが3校案に理解を